

やくばのリレー便

～副町長・教育長・各部長による現場レポート～



教育次長/倉本 勇登

毎月、副町長・教育長・各部長がバトンをつないで、町の“中のこと”をお話していきます。

海田で生まれ、近所の保育所に入所してから高校を卒業するまでずっと海田の学校でお世話になりました。小学生の頃はスポーツ少年団でソフトボールを習ったり、瀬野川や海田湾で釣りを楽しんだりした記憶があります。中学以降はクラブ活動中心の生活でした。大学だけは町外に出させてもらいましたが、町外で一人暮らしを経験した時に初めて、海田の良さを客観的に知ることができました。海田の良さは海・山・川など豊かな自然が身近にある一方で、スーパーやコンビニ・飲食店などの商業施設のほか、病院など医療機関も多くあり、日常生活で、さほど不便を感じることなく快適に暮らすことが出来る点にあると思います。また、交通インフラも整備されていて、広島市や呉市・東広島市といった都市部にもストレスなくアクセスできる点も魅力ではないでしょうか。

改めまして、4月1日より教育次長に着任しました倉本です。

教育委員会では、町民の皆さんが「学び続けることで成長できる」環境実現のため、学校教育と社会教育とを一体的に推進しています。学校教育では、児童生徒の知育・徳育・体育・食育などをソフト・ハードの両面から全力で支援し、また、社会教育では、「誰でも・どこでも・いつからでも」学ぶことのできる環境づくりを進めます。

皆さんのご理解・ご協力をいただきながら、教育を通じて海田のさらなる成長・発展に取り組む決意です。どうぞよろしくお願いいたします。

来月は、環境センター岡田所長です! どうぞお楽しみに!



昔の海田市駅



今の海田市駅

写真でたどる 海田町のいまとむかし



海田の玄関口 海田市駅

昔

木造の駅舎、駅前に並ぶ商店のにぎわい、瀬野川のせせらぎとともにあった、低く懐かしい町の目線。温かく、穏やかな日常がそこにはありました。

今

形を変え、時代を超えても、まちの活気を支える使命はこれからも変わりません。「玄関口」として、今日も誰かの出発を優しく見守ります。

